

事業実施区域周辺における植物の広がりや植物の分布量を把握するために調査を実施しました。



植生調査とは

「植生」は、ある場所に生育する植物の広がりを目指す言葉で、様々な植物により構成されている「植生」を観測する方法が植生調査です。

● 増産のイメージ



実際の植生は、樹林と草地では見た目が大きく違うように、ある程度のまとまりをもった「植物群落」に分けられます。また、樹林では高さが大きく異なる植物が同じ場所に生育しているため、高さに応じた「階層」に分け、どのような植物が生育するのかを調べています。

上のような植生の広がりを経路上に平面的に表したものが植生図です。

凡例	凡例名	主な種	緑の量			
			東名高速道路沿道～旧国道20号沿道		旧国道20号沿道～東八洲橋沿道	
			緑の面積(m ²)	緑の体積(m ³)	緑の面積(m ²)	緑の体積(m ³)
	シラカシ群落	シラカシ、ヒサカキ、アオキ等	980	20,660	-	-
	ハシロキ群落	ハシロキ、ムクノキ	270	3,370	-	-
	ケヤキ・シラカシ屋敷林	ケヤキ、シラカシ、スダシイ等	12,060	253,260	19,030	399,580
	クヌギ・コナラ群落	コナラ、クヌギ、イヌシデ等	95,780	2,104,750	19,140	420,550
	ムクノキ・ケヤキ群落	ムクノキ、ケヤキ、エノキ等	-	-	-	-
	アスナギサ群落	アスナギサ、カナムグラ等	3,570	9,810	-	-
	ヨシ・マコモ群落	ヨシ、マコモ、ヒメガマ等	-	-	1,590	2,820
	ナガエミクリ群落	ナガエミクリ、フトイ等	-	-	60	30
	浮葉植物群落	コウホネ、スイレン	-	-	-	-
	スギ・ヒノキ人工林	スギ、ヒノキ、ミズキ等	2,130	48,960	-	-
	アカマツ・クロマツ群落	アカマツ、クロマツ等	2,200	41,810	-	-
	外国産針葉樹人工林	ラクウショウ	1,810	41,610	-	-
	ニセアカシア群落	ニセアカシア、ムクノキ等	160	2,550	-	-
	公園等樹林地	コナラ、ケヤキ、クヌギ等	99,680	1,607,420	31,430	506,760
	竹林	モウソウチク、ヒサカキ、アオキ等	20,110	306,690	10,550	160,870
	メヒシバ群落	メヒシバ、エノコログサ、スキナ等	25,080	7,050	28,160	7,920
	セイバンモロコシ群落	セイバンモロコシ、アレチウリ等	43,630	59,330	-	-
	ミソソバ群落	ミソソバ、クサヨシ、イヌビエ等	2,930	5,870	1,210	2,410
	シバ草地	シバ、キョウキシバ、メヒシバ等	76,700	4,470	9,850	570
	果樹園、苗圃	ハナミズキ、イチョウ、ケヤキ等	41,260	175,340	70,460	299,470
	雑草群落	トキンソウ、スベリヒユ等	153,780	44,210	151,220	43,480
	水田雑草群落	イヌビエ、タカサブロウ等	1,920	1,350	-	-
	市街地	-	-	-	-	-
	大規模な道路・線路等	-	-	-	-	-
	緑の多い住宅地	-	364,210	1,611,640	87,630	387,770
	裸地、造成地	-	-	-	-	-
	開放水域	-	-	-	-	-
	計		948,260	6,350,150	430,330	2,232,230

◆觀測目的

事業実施区域周辺における「植生」の状況を把握するために植生観測を実施し、その分布状況を植生図にまとめました。また、植物の分布量の把握のため、緑の量の観測を行いました。

◆ 视觉传达设计(第2版)

事業実施区域から片側約250mの範囲としました。

◆觀測時期

種 生：平成16年7月22日～30日

平成16年10月4日～12日

録の量：平成16年10月4日～12日

◆觀測方法

観測範囲における植物群落（植物のまとまり）について、高さに応じた階層（高木や低木、草本の違い）に分けた植物種の生育状況の観測を行いました。

この観測結果の整理により、左表における群落の区分を行い、その分布状況を空中写真判読から植生図に表しました。

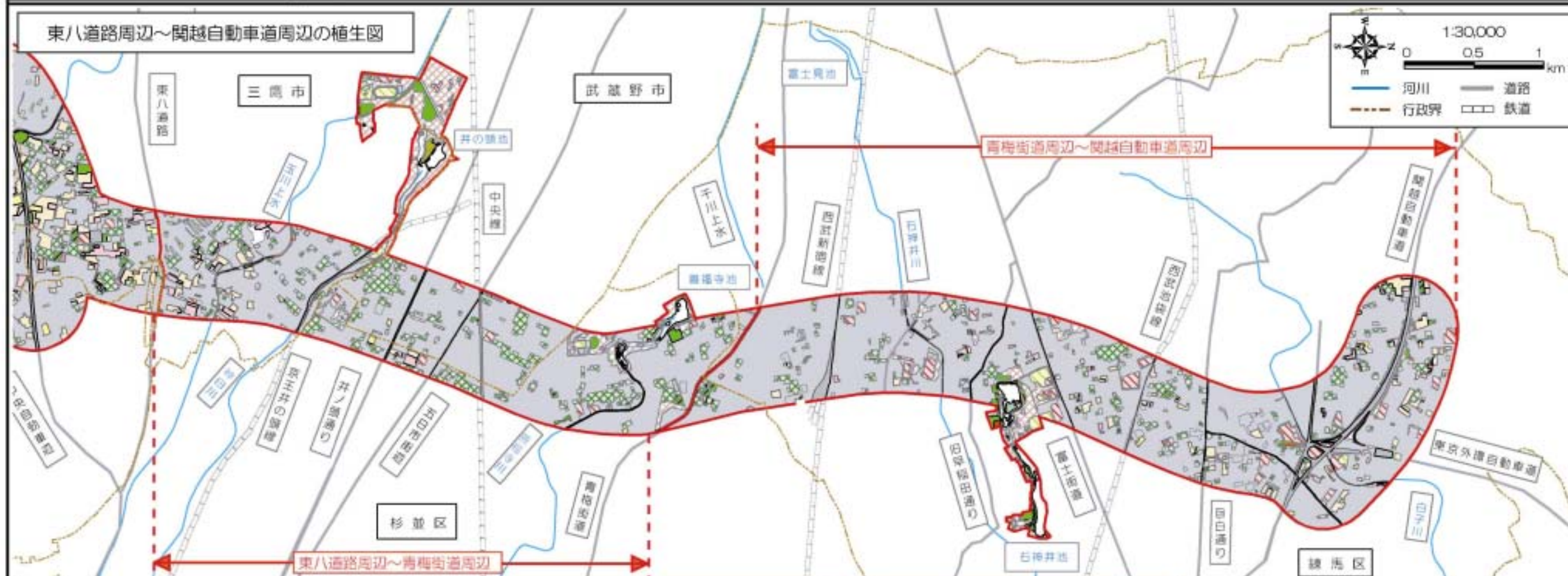
緑の量の観測は、植生観測結果を踏まえた上で、空中写真の判読結果と現地観測（群落の広がりりと高さの計測）の結果から、各植生図凡例の緑の面積（緑の面的な分布状況）、緑の体積（高さを考慮した緑の量）を算出しました。

※凡例名は、一般的な植生調査における群落名の命名方法に準じ、各種物群落の優占種や特徴的な種を群落名として用いました。ただし、特定の優占種がない群落や立地が特殊な群落については、その群落の特徴を表す名称を用いました。

※緑の欄の値は、整数第一位を四捨五入しています。

植生・緑の量 (2/2)

事業実施区域周辺における植物の広がりや植物の分布量を把握するために調査を実施しました。

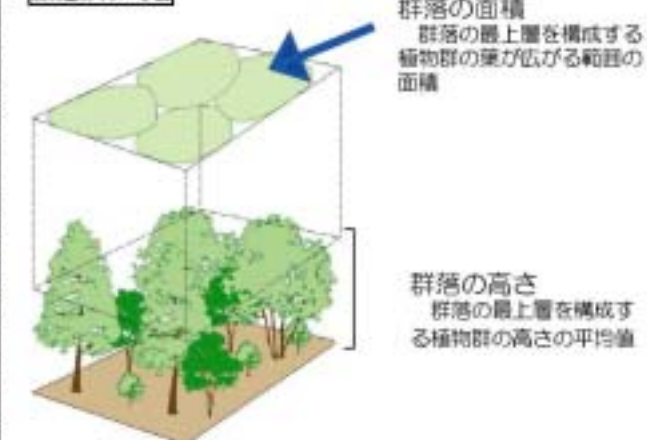


凡例	凡例名	主な種	緑の量				計	
			東八道路周辺～青梅街道周辺	青梅街道周辺～関越自動車道周辺	緑の面積(m ²)	緑の体積(m ³)	緑の面積(m ²)	緑の体積(m ³)
	シラカシ群落	シラカシ、ヒサカキ、アオキ等	-	-	980	20,660	-	-
	ハンノキ群落	ハンノキ、ムクノキ	110	1,360	2,590	32,870	2,970	37,600
	ケヤキ・シラカシ混交林	ケヤキ、シラカシ、スタシイ等	11,770	247,120	11,860	249,010	54,720	1,148,970
	クヌギ・コナラ群落	コナラ、クヌギ、イヌシテ等	30,820	677,240	20,830	457,710	166,570	3,660,250
	ムクノキ・ケヤキ群落	ムクノキ、ケヤキ、エノキ等	7,660	159,000	2,880	59,660	10,540	218,660
	アスナギサ群落	アスナギサ、カナムグラ等	750	2,070	-	-	4,320	11,880
	ヨシ・マコモ群落	ヨシ、マコモ、ヒメガマ等	1,960	3,470	1,470	2,600	5,020	8,890
	ナガエミクリ群落	ナガエミクリ、フトイ等	-	-	20	10	80	40
	浮葉植物群落	コウホネ、スイレン	560	40	910	70	1,470	110
	スギ・ヒノキ人工林	スギ、ヒノキ、ミズキ等	1,220	27,960	3,470	79,820	6,820	156,740
	アカマツ・クロマツ群落	アカマツ、クロマツ等	-	-	1,620	30,870	3,820	72,680
	外国産針葉樹人工林	ラクウショウ	4,720	108,470	5,020	115,400	11,550	265,480
	ニセアカシア群落	ニセアカシア、ムクノキ等	330	5,280	-	-	490	7,830
	公園等樹林地	コナラ、ケヤキ、クスノキ等	258,820	4,173,470	170,650	2,771,620	560,580	9,039,430
	竹林	モウソウチク、ヒサカキ、アオキ等	3,760	57,330	3,630	55,400	38,050	580,290
	メヒシバ群落	メヒシバ、エノコログサ、スギナ等	10,050	2,830	11,090	3,120	74,380	20,920
	セイバンモロコシ群落	セイバンモロコシ、アレチウリ等	-	-	-	-	43,630	59,330
	ミソソバ群落	ミソソバ、クサヨシ、イヌビエ等	-	-	-	-	4140	8,280
	シバ草地	シバ、キョウキシバ、メヒシバ等	38,140	1,980	36,070	2,100	156,490	9,120
	果樹園、苗圃	ハナミズキ、イチヨウ、ケヤキ等	23,650	100,500	19,860	84,400	155,230	659,710
	畑地雑草群落	トキンソウ、スベリヒユ等	37,750	10,970	81,920	23,440	424,670	122,100
	水田雑草群落	イヌビエ、タカサブロウ等	-	-	-	-	1,920	1,350
	市街地	-	-	-	-	-	-	-
	大規模な道路・線路等	-	-	-	-	-	-	-
	緑の多い住宅地	-	173,510	767,780	114,180	505,240	739,530	3,272,430
	裸地、造成地	-	-	-	-	-	-	-
	開放水域	-	-	-	-	-	-	-
	計		600,080	6,326,910	489,300	4,473,450	2,467,970	19,382,740

緑の量とは

「緑の量」は、緑の面積（群落の面積）と緑の体積（群落の面積に群落の高さを乗じた値）とで表現する方法です。

緑の量のイメージ図



※緑の量の値は、整数第一位を四捨五入しています。